



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ルネサンス

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 兼財務本部長 (氏名) 田中 俊和

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,005	4.8	724	39.4	848	77.1	464	284.8
24年3月期第2四半期	18,134	△2.3	519	45.0	479	44.6	120	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	21.74	—
24年3月期第2四半期	5.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,442	9,620	35.1
24年3月期	24,757	9,305	37.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,620百万円 24年3月期 9,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,100	6.0	1,870	32.8	1,900	32.2	950	53.4	44.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成25年3月期の業績予想につきましては、直近に公表されている業績予想(平成24年5月9日公表)を修正しております。

詳細につきましては、平成24年11月6日公表の「平成25年3月期第2四半期(累計)期間個別業績予想と実績値の差異及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	21,379,000 株	24年3月期	21,379,000 株
25年3月期2Q	297 株	24年3月期	224 株
25年3月期2Q	21,378,733 株	24年3月期2Q	21,378,814 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
【注記事項】	10
(四半期貸借対照表関係)	10
(四半期損益計算書関係)	10
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	10
(株主資本等関係)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により持ち直しつつあるものの、欧州債務問題を背景とした世界経済の低迷や、長引く円高、電力供給の制約など、景気が下押しされるリスクが残されており、なお先行きは不透明の状況が続いております。

フィットネス業界においては、昨年の東日本大震災後、国民一人ひとりの健康意識の高まりなどによって、入会が活発化したしました。当社におきましても、被災による一部のクラブ閉鎖を余儀なくされましたが、前事業年度中に震災前の在籍会員数を回復することができ、また、当第2四半期累計期間は、主に既存会員の退会を抑止する施策に注力した結果、退会率が前年に比べ大きく改善したことなどにより、当第2四半期会計期間末における既存クラブの在籍会員数は、前年同期比5.0%増となりました。

当第2四半期累計期間における施設の状況は、4月にドゥミルネサンス市ヶ谷(東京都新宿区)、5月にリハビリセンター大船(神奈川県鎌倉市)、7月にルネサンス久宝寺(大阪府八尾市)、ルネサンス野田(千葉県野田市)、ドゥミルネサンス田町・三田(東京都港区)、9月にルネサンス広島ボールパークタウン(広島市南区)をオープンした一方、賃貸借契約の満了に伴い9月末でルネサンス横浜ランドマーク(横浜市西区)を閉店いたしました。

ルネサンス久宝寺及びルネサンス野田は、施設設計を見直し、従来型と比較して工費を大幅に削減したローコスト出店モデルと位置づけており、当社基準による出店候補地の拡大に寄与する可能性を有した事例です。また、ルネサンス広島ボールパークタウンは、マツダスタジアムに隣接し、スタジアムが一望できる他に例を見ないクラブであり、トレーニングをしながらスタジアムの景観も楽しむという新たな試みを実現した事例となっております。

この結果、当第2四半期会計期間末の施設数は、直営105クラブ、業務受託7クラブ、通所介護1店舗の計113施設(休業中のルネサンス原町、9月末閉店のルネサンス横浜ランドマークを含む)となりました。

既存クラブの改装及び設備更新は、5月にルネサンス泉大津(大阪府泉大津市)、6月にルネサンス東久留米(東京都東久留米市)、ルネサンス鶴間(神奈川県大和市)、7月にルネサンス港南中央(横浜市港南区)、8月にルネサンス国立(東京都国立市)、ルネサンス熊本(熊本市中央区)において実施し、魅力向上に努めております。

そのほか、多様化する顧客ニーズ及び地域特性に応じた個店マーケティングを実践し、クラブごとのオペレーションに創意工夫を凝らしたことにより、在籍会員数の増加やクラブ運営の効率化などの成果につながりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高は190億5百万円となり、前年同期に比べ4.8%増となっております。

営業利益は7億24百万円（前年同期比+39.4%）、経常利益は8億48百万円（同+77.1%）、四半期純利益は4億64百万円（同+284.8%）となりました。

当第2四半期累計期間においては、今後ますます多様化する消費者ニーズに対応するため、新規領域となる事業やプログラムに積極的に取り組んだほか、自社主催イベントを開催いたしました。主なトピックスは以下の通りです。

・リハビリ特化型デイサービス（通所介護）事業の開始

当社は、中期経営計画におけるヘルスケア事業拡大への取り組みの一環として、5月にリハビリテーションに特化したデイサービス（通所介護）事業の第一号店となる「ルネサンス リハビリセンター大船」をオープンいたしました。

今後このような要支援・要介護認定者の自立支援に取り組む施設の多店舗展開を視野に入れ、高齢化が進む地域の健康づくりに力を入れてまいります。

・「ルネサンスファスティングダイエットスクール」の開講

減量やデトックスに効果があると注目を集めているファスティング（断食）を適切に実践いただくための「ルネサンスファスティングダイエットスクール」を6月に開講いたしました。

当スクールは、専門資格を有するスタッフからのファスティングの実践方法や生活習慣（食生活・運動習慣）に関するレクチャー、ヨガ・ウォーキングなどのエクササイズ、期間中に摂取する専用のドリンクがセットになった月4回のスクール形式で、期間終了後も効果を持続していただくことを目指しています。

・「ルネサンスダンスフェス」の開催

今年で4回目となる「avex Dance Master presents RENAISSANCE DANCE fes」（ルネサンスダンスフェス）が、7月に新木場のSTUDIO COASTで開催されました。

「ルネサンスダンスフェス」は、エイベックスがプロデュースするダンススクール「エイベックス・ダンスマスター」を当社で受講しているお客様向けに、一年に一回、日頃の練習の成果を発表する機会として開催しているイベントです。今回は26クラブから928名のお子様のご参加と保護者の方々のご来場をいただき、大盛況のイベントとなりました。

当社の報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。以下では、より詳細な区分に分類し開示を行っております。

① 区分別売上高

当第2四半期累計期間における販売実績を各区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期 累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門合計	10,493,946	+4.0
スイミングスクール	3,162,130	+7.1
テニススクール	1,676,682	+4.6
その他スクール	710,039	+3.3
スクール部門合計	5,548,852	+5.8
プロショップ部門	844,887	△3.6
その他の収入(注)2	1,798,889	+12.0
スポーツ施設売上高計	18,686,577	+4.9
業務受託	235,385	△11.2
その他売上	83,796	+58.8
売上高合計	19,005,759	+4.8

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「その他の収入」は、スポーツクラブ施設に付帯する駐車場、プライベートロッカー等の収入であります。

② フィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況

当第2四半期会計期間末におけるフィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況を示すと、次のとおりであります。

部門	当第2四半期 会計期間末(名)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門計	246,699	+7.3
スイミングスクール	89,122	+7.5
テニススクール	33,532	+5.5
その他スクール	15,555	+1.8
スクール部門計	138,209	+6.4
会員数合計	384,908	+7.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ26億84百万円増加し、274億42百万円となりました。これは主に、新規出店に伴いリース資産が増加したことにより有形固定資産合計が23億51百万円増加したこと、投資その他の資産が1億99百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ23億69百万円増加し、178億22百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことにより流動負債合計が4億98百万円増加したこと、新規出店に伴いリース債務が増加したことにより固定負債合計が18億71百万円増加したことによるものです。

ハ. 純資産

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ3億14百万円増加し、96億20百万円となりました。これは主に、四半期純利益4億64百万円を計上したこと、また前事業年度末配当金1億49百万円を取崩したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は前事業年度末に比べ7百万円減少し、8億6百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間 13億77百万円（前年同期8億95百万円）

営業活動により得られた資金は、13億77百万円（前年同期比53.7%増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益8億14百万円（同200.9%増）、減価償却費8億10百万円（同4.8%減）、法人税等の支払額4億42百万円（同43.3%増）によるものです。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間△8億79百万円（前年同期△12億85百万円）

投資活動に使用した資金は、8億79百万円（前年同期比31.6%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5億41百万円（同62.6%減）、敷金及び保証金の差入による支出3億32百万円（同14.0%増）によるものです。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間△5億5百万円（前年同期1億59百万円）

財務活動により使用した資金は、5億5百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出11億99百万円（前年同期比8.4%減）、長期借入れによる収入5億円（同70.6%減）、短期借入金純増加額4億円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、売上高は当初予想から変更はないものの、収益基盤の強化が喫緊の課題であるという認識のもと、営業活動及びオペレーションの工夫等、経費の効率的使用に注力していることにより利益の改善が見込まれるため、平成24年5月9日公表の業績予想数値を変更しております。

詳細につきましては、平成24年11月6日公表の「平成25年3月期第2四半期（累計）期間個別業績予想と実績値の差異及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ9,519千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	786,261	777,883
売掛金	748,697	721,020
商品	368,898	307,876
その他	1,647,594	1,775,491
貸倒引当金	△11,924	△12,073
流動資産合計	3,539,527	3,570,198
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,163,639	5,142,741
リース資産(純額)	2,503,753	4,761,407
その他(純額)	2,663,603	2,778,542
有形固定資産合計	10,330,997	12,682,690
無形固定資産		
投資その他の資産	641,273	744,352
敷金及び保証金	7,829,833	8,155,280
その他	2,416,234	2,290,063
投資その他の資産合計	10,246,067	10,445,344
固定資産合計	21,218,338	23,872,387
資産合計	24,757,865	27,442,585
負債の部		
流動負債		
支払手形	※ 178,329	※ 333,369
買掛金	110,983	79,135
短期借入金	600,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,233,000	2,125,500
未払法人税等	494,290	352,367
前受金	514,331	513,838
賞与引当金	516,510	550,637
資産除去債務	5,627	20,663
その他	※ 2,733,056	※ 2,909,049
流動負債合計	7,386,127	7,884,562
固定負債		
長期借入金	4,100,000	3,508,500
リース債務	2,465,585	4,670,936
退職給付引当金	355,042	352,090
資産除去債務	532,020	604,050
その他	613,524	802,081
固定負債合計	8,066,172	9,937,658
負債合計	15,452,300	17,822,220

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	4,337,260	4,652,473
自己株式	△104	△140
株主資本合計	9,304,509	9,619,686
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,055	678
評価・換算差額等合計	1,055	678
純資産合計	9,305,565	9,620,365
負債純資産合計	24,757,865	27,442,585

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	18,134,781	19,005,759
売上原価	16,815,024	17,513,498
売上総利益	1,319,757	1,492,261
販売費及び一般管理費	※1 799,804	※1 767,382
営業利益	519,952	724,878
営業外収益		
受取利息	17,200	16,811
受取手数料	43,737	51,188
受取補償金	—	※2 158,111
その他	11,341	16,638
営業外収益合計	72,279	242,750
営業外費用		
支払利息	95,045	106,856
その他	17,749	11,812
営業外費用合計	112,794	118,668
経常利益	479,437	848,960
特別利益		
固定資産売却益	—	1,061
特別利益合計	—	1,061
特別損失		
固定資産除却損	92,891	19,300
減損損失	3,549	15,525
災害による損失	74,161	—
その他	38,235	902
特別損失合計	208,838	35,728
税引前四半期純利益	270,599	814,294
法人税、住民税及び事業税	51,853	302,375
法人税等調整額	97,927	47,055
法人税等合計	149,780	349,430
四半期純利益	120,818	464,863

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	270,599	814,294
減価償却費	851,190	810,560
減損損失	3,549	15,525
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,924	△2,952
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△552	148
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,644	34,127
受取利息及び受取配当金	△17,226	△16,856
支払利息	95,045	106,856
固定資産除却損	92,891	19,300
売上債権の増減額 (△は増加)	10,595	27,677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	31,162	90,351
仕入債務の増減額 (△は減少)	85,718	123,192
前受金の増減額 (△は減少)	△2,407	△492
その他	△114,633	△98,159
小計	1,298,213	1,923,573
利息及び配当金の受取額	360	153
利息の支払額	△93,686	△103,613
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△309,022	△442,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	895,865	1,377,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,446,513	△541,012
無形固定資産の取得による支出	△34,911	△112,926
敷金及び保証金の差入による支出	△291,657	△332,619
敷金及び保証金の回収による収入	437,709	56,798
その他	49,651	50,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,285,721	△879,349
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	400,000
長期借入れによる収入	1,700,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,309,000	△1,199,000
リース債務の返済による支出	△45,752	△57,648
配当金の支払額	△85,498	△148,764
その他	△11	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	159,737	△505,448
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230,118	△7,469
現金及び現金同等物の期首残高	1,124,284	813,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 894,166	* 806,239

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

- ※ 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
 なお、当第2四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期会計期間末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
支払手形	34,400千円	66,692千円
設備関係支払手形(流動負債その他)	27,763千円	51,564千円

(四半期損益計算書関係)

- ※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
従業員給料及び賞与	243,048千円	229,648千円
賞与引当金繰入額	42,591千円	50,953千円

※2 受取補償金の内容

震災以降休業しているクラブにおける逸失利益等に対する東京電力㈱からの補償金であります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

- ※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	865,947千円	777,883千円
預け金(流動資産その他)	28,218千円	28,355千円
現金及び現金同等物	894,166千円	806,239千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月24日 取締役会	普通株式	85,515	4.00	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の
 末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月22日 取締役会	普通株式	149,651	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の
 末日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5.65円	21.74円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	120,818	464,863
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	120,818	464,863
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,378	21,378

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。